



学校通信

我が輩はトラフズク

令和6年2月22日 No.11

創造・感動・笑顔

弘前市立第三中学校

「卒業」の「式」

校長 小笠原 恭史

3年生の担任をしていた頃、「やる気がでません」と言いながら職員室に現れた生徒がいました。聴くと、目標はあり意志もあり、ただやる気が以前のように湧いてこないというのです。出会った頃の彼は、全身から「なめんなよ」というエネルギーが放たれ、「自分をバカにした人たちを見返してやる」と勉強や部活、そして生徒会活動に取り組んでいました。その成果は良い結果として表れました。彼は人に勝つことだけを目指していましたが、部活で勝つためには人との協力が必要なことに気づき、生徒会活動で見付けた勝利は裏方として人を応援するところにあったようです。その後、受験勉強の季節となり、彼はまた“なめんなよエンジン”を動かして勉強をしていました。しかし、なかなかエンジンが動かなかったのです。理由は簡単です、彼をバカにしている人はいなかったからです。それどころか信頼される存在になっていました。私は違うエンジンを提案しました。彼には“人を喜ばせたい。それができる仕事に就く。”という夢がありました。その夢で動くエンジンです。彼は、また動き始めました。ライバルや見返したい人がいないと頑張れない自分を卒業したのだと思いました。学校業界で変わり者と思われ「なめんなよ」を原動力に生きる担任(私)をあっという間に超えていきました。そんな私に彼は「ありがとうございました。」と言ってくれました。

このエピソードは、「卒業」や「式」を単に中学校生活が終わるときとしか思えていなかった私に色々なことを教えてくれました。卒業に際し、学級の子もたちに「どんな自分を卒業し、どんな自分に入学するのか(どんな自分になっていきたいのか)」を考えてもらうようにしました。その決意を感謝と共に表現するものが「答辞」であり、ならば卒業生全員に書く意味があり、それらを伝える機会として「卒業」の「式」は大切だと気づきました。

「式」は節目で、“それまで”と“これから”の間に必要な時です。それまでを締め括り～終え、これからへと切り替え～始めるためです。

人は必ず多くの人に支えられて生きています。ゆえに締め括りの節目「式」では感謝を伝えることが大切です。「式」にあたり、感謝が心にあるならば素敵な時間を過ごし、成長できた証です。このような思いを大事に・確認できる時が「式」です。

3月9日、3年生はどんな自分を卒業し、どんな自分に向かって進んでいくのかを考えましょう。2年生は、あと1年で“卒業したい自分”をイメージしましょう。1年生は、小学校の頃の自分と今の自分の変化をみましましょう。

さて、私は「卒業」の「式」にあたり、子どもたちの胸に去来する正直な思いに教師としての評価をもらうときとして臨みます。

保護者アンケート (学校評価)結果

(表中の太字はA・Bの合計ポイントが昨年度比でマイナスになった項目です)

	A よくあてはまる	B あてはまる	C あまりあてはまらない	D あてはまらない	
確かな学力	学校は、基礎学力が定着するような授業をしている。	21.2%	69.7%	9.1%	0%
	学校は、授業づくりや家庭学習の指導などを工夫し、生徒の学ぶ意欲を高めている。	19.1%	66.8%	13.6%	0.5%
	学校は教室・廊下の掲示や図書を整備、校庭や中庭の整備など生徒が学ぶ環境を整えている。	37.4%	61.1%	1.5%	0%
	お子さんは、「学校の授業は分かりやすい」と言っている。	15.7%	61.4%	9.8%	3%
豊かな人間性	お子さんは、ほぼ毎日家庭学習に取り組んでいる。	43.5%	32.5%	19%	5%
	家庭では、学習や進路について話し合ったり、授業参観に参加したりするなど、お子さんの学習に関わるようにしている。	36.5%	57.4%	5.1%	1%
	学校は、いじめのない学校づくりに積極的に取り組んでいる。	16.8%	62.9%	16.8%	3.6%
	学校は道徳の時間をはじめ、日常生活における指導を通して、思いやりをもって行動できる子どもを育成している。	18.8%	69.5%	10.7%	1%
	学校は、生徒の良さや努力を認めるなど生徒理解に努めている。	30.8%	60.1%	8.6%	0.5%
	お子さんは進んであいさつをしている。	33.2%	50.8%	16.1%	0%
	【小中共通の目標】				
	お子さんは、あきらめず物事に取り組んでいる。	33.2%	54.8%	11.1%	1%
	【小中共通の目標】				
	お子さんは友だちに親切にするなど、あたたかい心をもって周りに接している。	36.7%	60.8%	2.5%	0%
健康・体力	家庭では、時間や決まりを守ることなどを教えている。	47%	48%	4.5%	0.5%
	家庭では、お子さんの良いところや努力をほめている。	48.2%	46.2%	5.5%	0%
	学校は、様々な教育活動を通して、心身の健康づくり・体力づくりに努めている。	28.3%	68.2%	3.5%	0%
	学校は、生徒に関する相談や悩みについて、丁寧に対応している。	27.5%	59.5%	10.5%	2.5%
	お子さんは、「学校が楽しい」と思っている。	40.5%	45%	9.5%	5%
	お子さんは、毎日、朝食を食べてから登校している。	83.4%	11.1%	5%	0.5%
学校と家庭の連携	お子さんは、進んで運動している。	43.3%	29.4%	21.4%	6%
	家庭では、「早寝」「早起き」「朝ご飯」の大切さを教えている。	47.5%	44%	8.5%	0%
	学校は、日常から家庭との連絡を密にし、緊急連絡についても的確に行っている。	32.2%	56.3%	9.5%	2%
	学校は参観日、学校だよりや学年・学級だよりなどで、教育方針、生徒や学校の様子などをわかりやすく伝えている。	35.7%	57.8%	6%	0.5%
教育自立圏	家庭では、PTA活動に参加している。	12.5%	18%	43%	26.5%
	家庭では、配付される学校だよりや学年・学級だよりなどを読んでいます。	50%	37.9%	10.6%	1.5%
	学校は、小中一貫教育を目指し、授業づくりなど小学校と連携した諸教育活動を行っている。	21.6%	71.6%	6.2%	0.5%
	学校は、子どもたちに「弘前市」について興味や関心をもってもらおうよう「ひろさき卍学」を中心とする活動に力を入れている。	30.1%	64.8%	5.1%	0%
家庭では、子どもの健康と運動について関心がある。	29%	61%	5.1%	6%	
学校は、保護者や地域住民と連携・協働して、学校運営を行うよう努めている。	21.8%	66.5%	11.2%	0.5%	

アンケートの結果から Googleフォームでのアンケートは今年で2年目。回収率は約50%でした。

ゴシック体(斜体)は昨年度と比較して、評価が下がったもので、網掛けは上がったものです。全体的には、心身に関する項目が昨年よりも低い評価となりました。この点を学校課題と捉え、次年度の学校経営に反映させていきたいと考えます。今後とも本校の教育活動の推進にご理解・ご協力くださいますようお願いいたします。

◇『確かな学力』について

「学校の授業のわかりやすさ」について、昨年度よりもA・Bが約8ポイント上昇と、改善傾向が見られました。今後も教科指導に関する研修と合わせて、生徒一人一人への支援、一人一台端末やAIドリルなどの効果的な活用等について更に深めていきます。

☆『豊かな人間性』について

残念ながら今年度の評価で最も下降傾向が目立った項目です。次年度、安心した学校生活を送れるようにこれまで以上に心の教育を推進するとともに、教職員の指導体制についても検討を図りたいと思います。家庭と協力して子どもたちの「豊かな人間性」を育てていければと考えます。

○『健康・体力』について

コロナ5類に移行し、この項目については上昇傾向が見られました。部活動の制限が緩和され、子どもたちも遊び方が元に戻りつつあることが要因と考えられます。この先も様々な活動を通して体力作りについて考えていければと思います。

※『学校と家庭の連携』について

コロナ禍を経てPTAの参加意識が変わりつつあるように感じます。評価は全体的に下降傾向でした。学校と家庭の連携が子どもたちの健やかな成長には欠かせません。更なる情報発信をし、連携を強化していきたいと考えます。

▽『教育自立圏』について

この項目には大きな変化が見られませんでした。但し、保護者や地域住民との連携・協働の項目はA・Bの割合が昨年度よりも約4ポイント下降しています。これまでのことを再検討し、どのように小学校と足並みをそろえ、子どもたちへのよりよい教育をするための小中連携について考えていきたいと思ひます。

【自由記述について】

自由記述において「学校が楽しいようです」「学習にも意欲が湧き」「先生が子どもに一生懸命接してくれる」「心配なことも相談にのっていただきありがとうございます」などのお言葉をいただいておりますが、以下は改善を求めるとご意見について回答させていただきます。

*「教職員の言葉遣いや指導場面における話す内容について不適切なものがある。」

教師は「どのように伝えたか」以上に「どのように伝わったか」について責任をもって指導しなければならないと考えています。また、教師の言葉や話す内容は、思春期の子どもたちの人格形成に大きく影響を及ぼすものであることを今一度自覚して指導に当たっていきます。

*「分かりにくい授業がある。」

本校教員による校内研修のテーマは「関わる・わかる・できる授業づくり」となっています。全教員が授業を公開し、研修を重ね、生徒が「関わった・わかった・できた」という実感を得られる授業を目指しています。また、市教育委員会が全市立小中学校児童生徒を対象に年3回行っている「子どもの声・意識調査」の質問項目「授業がよく分かる」を指標として、今後も授業改善に取り組んでいきます。

*「部活以外は楽しそうではない」

部活動の楽しさは、やりたいことに目標をもって試行錯誤・創意工夫・協働してその達成を目指すところにあるのではないのでしょうか。そのプロセスを授業や学校行事等でも大切にしていきます。(学校経営方針に「生徒が考え、やってみて、振り返りまたやってみるという創造のプロセスを大切にする」を据えています。)

*「なかなか受験勉強をしない。受験生としての自覚を高める指導が不十分ではないか。」

受験生としての自覚は、高校に関する情報を与えることや受験までの日数カウントダウンだけでは高まりません。学校生活をはじめ様々な場面における人や多様な価値観との出会いを通じて、自分らしさについて考える(どのように生きていくか:人生観、どのように貢献していくか:勤労観、どのように自分を生かしていくか:職業観などを高めていく)ことが重要です。そのような指導を今後一層大切に行っていきます。

*「高校や入試についての情報提供が不十分ではないか。」

「高校」や「入試」について日頃から携わっている教師が当たり前知っていることと、保護者の皆さまや、まして初めて高校入試に挑む生徒が知っていることとの違いを踏まえた説明・指導をしなければなりません。各高校の校風、全日制・定時制・通信制の違い、普通科や各職業科の違いなど丁寧な説明を行っていくようにします。

*「長靴や衣服による寒暖調節が禁止されている。」

健康や安全に関することは重要なことと認識しています。学校からの説明不足な点もあるのではないかと考えています。学校のルール等については、改めて生徒や保護者の皆さまへの丁寧な説明をし、また、不易流行に基づき見直していくべきものは見直していきたいと考えています。

*「猛暑日のジャージ登校(暑さ対策)について」

健康と安全を最優先に検討していきます。

*「ケガをしたときなど連絡がほしい。」

ケガをしたときはもちろんのこと、精神的に不安定な状態で帰るときなどご家庭への連絡は行っています。それが行われていなかった場合があるので、今一度その方針を確認の上、徹底していきます。

*「引っ込みがち子どもも活躍できるよう～にしてほしい。」

例えば球技大会があるならばレク大会(将棋やオセロなど)も必要です。5教科が得意な生徒や技能教科が得意な生徒、楽しいことでみんなを笑わせることが得意な生徒、責任をもって委員会活動や清掃などでみんなを支えることが得意な生徒など、多様な個性が発揮される場づくり(学校づくり)を行っていきます。

*「通信簿の学校からのコメントをやめたのであれば、保護者からのコメントも無くしてもいいのではないか。」

保護者からのコメントは学校(教師)にとって大切な情報・手掛かりです。教師からのコメントは面談でお伝えするというにしていますが、保護者のお立場からも面談で話すので書く必要はないのではというご指摘だと思います。今一度、学校からのコメント・保護者からのコメントについて、学校の考えと保護者の皆さまからの意見を踏まえ検討していきます。

*「このフォームが書きづらい。紙媒体や面談等で話したい。」

今後もこのフォームでのアンケートは継続していきますが、不便という場合には、紙媒体等でも可能ですので、ご連絡ください。

*「普通に授業が受けられる環境においてほしい。」

学年や学級、時期によって授業環境が落ち着かないことがあります。その都度、学級担任、学年主任(学年職員)、生徒指導主事、教頭、校長を含めた指導体制のもと組織的に指導に当たっていきます。今後ともご家庭でのお子さんからの話や様子などから、ご心配な点についてお知らせください。

*「高価なものを持っている。」「お金の使い方が荒い生徒がいる。」

各家庭の事情があると思いますが、学校として道具など高価なものを求めることはありません。また、金銭感覚なども含め自分の生活を見直す授業(学級活動)が3年間を通じて計画されています。その授業などで指導していきます。

*「合唱コンクールの審査員の審査の仕方(きちんと見ていないことがあった)について」

当日はお越しいいただきありがとうございます。厳正なる審査をするため本校職員は審査には携わず、全て審査員にお任せしています。今回ご指摘いただいたような場面があったのだと思いますが、審査員の方々は有数の指導者で、豊富な経験に基づき、それぞれの視点・観点で総合的に審査されておりますのでご理解のほどよろしくお願ひします。

3月の主な行事

5日(火) 県立高校入試日	14日(木) 職員会議 15:00
7日(木) 卒業生を送る会	15日(金) 県立高校合格発表 9:00
8日(金) 卒業式予行・卒業式準備 8:30 出校	19日(月) 県立高校再募集検査実施日
9日(土) 第75回卒業証書授与式 10:00	21日(水) 県立高交際募集合格発表 13:00
11日(月) 振替休業日	22日(金) 1,2学年末大清掃
12日(火) 1時間目:卒業式後片付け	25日(月) 修了式・離任式 生徒下校 11:05
13日(水) 県立高校追検査	26日(火) 春期休業(～4/5)